



築上町地域おこし協力隊
加藤 詩乃

体験型地域おこし協力隊として着任。
デザインスキルを活かし、パッケージ、チラシ、フリーペーパー等のデザインを手がける。
卒業後は町に定住し、フリーランスデザイナーとして働きながら、空き家をリノベーションし、自宅兼事務所として新規にカフェ事業を立上げ予定。

着任 : 2022年 1月
活動拠点: まこちの里
出身 : 愛知県瀬戸市
前職 : デザイナー



〈インタビュー〉
八女市地域おこし協力隊
古庄 真苗

2023年 8月着任。八女福岡の古い町並みと、ランドマークである横町町家交流館の集客力向上がミッション。
卒業後は八女で夜カフェを開業予定。

Q. 築上町に定住を決めた理由は？

A. 定住「したい」と思ったタイミングは着任から1年半くらい経った頃。活動先である寒田地区に関わるようになり、家族のように接してくれる「まこちの里」の方や自分たちで寒田を盛り上げようとする地域の人たちに出会えたことが大きかったです。でも、実際に定住「できる」と思ったのはそれから1年後くらいで、副業のデザイナーの仕事が増え、フリーランスとして独立の目処が立ってからでした。会社に入ることも考えましたが、町で個人事業主として生きていくことが、私にとってはここに残る理由になると思いました。

Q. 家や拠点はどのように見つけた？

A. 物件は「自宅」兼「デザイン事務所」兼「カフェ店舗」として使用するのですが、借りられると決まったのは3年目に入る頃でした。空き家を探していることは色々なところまで口にしていたのですが、結果的に借りることになったのは活動先「まこちの里」の方のご親戚。その方はちょうどご自身の空き家について考えているタイミングで、元々顔見知りだったこともあり「しのさんなら貸したい」と言ってもらえました。もちろん物件のために仲良くしていたわけではないのですが、人として協力隊として、誰に対しても真摯に向き合い活動することで築いた信頼が、後から巡り巡って自分を助けてくれることもあると実感しました。

Q. 地域の団体等に入ってる？

A. 私は3年目に個人事業主として開業した時に、商工会と青年会議所に入りました。事業者同士のつながりは、特にデザイナーなどのクリエイター職にとっては貴重だと思っています。でも地域ごとの色や相性はあると思うので、まずは自分の地域の団体に話を聞きに行ってみるといいと思います！

Q. 卒業まであと2ヶ月。どこまで進んでる？

A. カフェのことで言えば、自宅兼店舗をまだリノベーション中（笑）来年の3月くらいにオープンできればいいと考えています。本業はあくまでデザイナーなので、今は依頼いただいているデザインの仕事に向き合うことを一番大事にしています！

2022年 1月 1日
築上町
地域おこし協力隊
着任



2023年 12月
空き家を
借りられることが
決定

2024年 5月
地域の
青年会議所に入
る

2024年 7月
町内の
商工会青年部に入
る

2024年 9月
空き家を正式に
賃貸契約→
改修スタート



2023年 1月
まこちの里での
活動スタート

2023年 10月
初めて空き家を
見学させてもらう

大家さんは
協力隊2年目からの活動先の方の親戚

一般社団法人
青年会議所

築上町商
工青年部

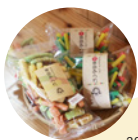
週二日、役場の勤務時間
に改修



加藤 詩乃、地域おこし協力隊の3年間とこれから

1 年 目

前職：雑貨メーカーのインハウスデザイナー
起業等のビジョンもなく協力隊START！



2022年 3月
まこちの里で
一緒にパッケージ
デザイン制作を
行う

協力隊の
活動の一貫で
フリーペーパー、ポスター
を制作



「まこちの里」の
地域おこし協力隊

フリーペーパー「まこち」

「まこち」の
デザイン

2023年 1月
副業として
デザイン業務
受注開始

2023年 4月
総務省主催
地域おこし協力隊
ポスターデザイン
コンテスト
優秀賞



2024年 3月
フリーペーパー
【愛しの寒田暮らし】
発行



2024年 4月
開業届を出す
個人事業主に



目指せ！！
地域資源の発掘王！

デザインをまちづくりの
推進力へ！



Q. デザイナーの仕事を町でどう広げた？

A. 1年目は地域にデザイナーがいることを知ってもらうため、基本的には断らずに何でも引き受けました。2年目からは副業としてデザインの仕事をスタート。正直デザインはやるうと思えば誰でもできますが、私は流行も考えながら、きちんとその人の想いを汲み取って形にする。ヒアリングに力を入れて、ブランディングまで一緒にやって、相手に満足してもらえるように仕事をさせてもらう。仕事を通して、私のデザインはただ見た目を作ることだけじゃないと知ってもらい、お金を払う意味を感じてもらえるように心がけました。

イベントに係る
ポスター／チラシ／
ショップカード／
オリジナル商品の
パッケージデザイン／
ラベルシール／看板
etc

▼過去の制作物





わたしとまちの、
少し先の未来。



VOL.
26
2024.12

地域を深掘り！

地域おこし協力隊コラム

田川産業株式会社に学ぶ「漆喰（しっくい）」



今月は、福岡県中央部に位置する【田川市】の池田より、地域の産業についてご紹介させていただきます。

今回ご紹介させていただく「田川産業株式会社」は、石灰の加工を専門とする企業で、福岡県田川市に拠点を構えています。工場内は石灰の粉で一面が白で覆われおり、まるで雪景色のような美しさに、足を踏み入れた瞬間に心を奪われます。ここで注目したいのは、石灰を原料とした漆喰（しっくい）です。漆喰は、古くから日本の建築に使われてきた伝統的な素材で、調湿性や防火性、抗菌性に優れた天然の壁材です。田川産業（株）では、漆喰を独自の技術で加工し、現代の建築やインテリアにも対応する高品質な製品として製造・販売しています。田川地区の高品質な石灰を基に、さまざまな製品を通じて、田川産業（株）は地域資源を活かしつつ、持続可能な産業活動を推進しています。伝統を尊重し、環境にも配慮しながら革新を続ける姿勢が、田川産業（株）の強みです。ご自宅のリフォームの際は、漆喰をぜひ取り入れてみてはいかがでしょうか？



▲石灰の白い粉末に覆われた工場内



▲漆喰（しっくい）塗り体験の様子



HP

田川産業株式会社

〒福岡県田川市弓削田 1924

✉ info@shirokabe.co.jp

🌐 https://shirokabe.co.jp/

発行元

福岡県地域おこし協力隊新聞部

市町村の枠を超えて集まった、福岡県内の地域おこし協力隊。自分の地域のおもしろいコト、お隣の地域のおもしろいヒト、遠く離れた地域のおもしろいモノ……。地域にとらわれず、さまざまなモノコトを発信します。

 インスタグラム



つながりタイ新聞

つながりタイ新聞は、現在、当ペーパーの発行と、Instagramをメインに活動しています。自分たちの活動のみならず、福岡県で活動しているさまざまな市町村の地域おこし協力隊の情報を発信しています！



ふくおか協力隊図鑑

「ふくおか協力隊図鑑」とは、福岡県内の現役地域おこし協力隊・OB/OGの活動内容や自己紹介をまとめた、ポートフォリオのようなInstagramアカウントです。福岡県地域おこし協力隊新聞部で運営を行っています。

今回の取材先：築上町



城井ふる里村



キクヤスカフェ

新聞部部員



築上町
加藤 詩乃



糸田町
松木 響子



うきは市
三角 俊喜



八女市
古庄 真苗



田川市
池田 駿介